

第20回介護・医療連携推進会議 議事録

【日時】平成29年9月20日(水) 16:00~17:30

【場所】ジャパンケア世田谷 会議室

【参加者】毛利 ICD、佐藤、村上 CM、手塚 CM、石濱、田下

松原あんしんすこやかセンター：伊澤様、ココチケア赤堤：亀井 CM 様、

民生委員会会長（松原1丁目担当）川上様、民生委員会副会長（松原2丁目担当）大塚様

議事録 田下 三千雄

1.開会のあいさつ（介護・医療連携推進会議の目的）

別紙開催の目的参照。

医療連携推進会議の規定についての説明。

2. 介護・医療連携推進会議の参加者のご紹介

自己紹介行う。

3. 事業所概要

別紙参照

4. ジャパンケア世田谷 サービス提供情報の報告

別紙参照（利用者基本情報、資料2参照）

- ・6月～8月の3か月間の利用者報告。
- ・全14名（1名施設入所により終了）（1名追加）。

（利用実績、資料4参照）

- ・14名のご利用者 定期巡回利用内容の説明。
- ・ケア内容は、排泄・食事・服薬・入浴・起床・就寝介助が以前からと同様に多い。
- ・コール内容は、転倒、排泄介助が多い状況となっている。
- ・胃ろうの方がいらっしゃらないのか？胃ろうの方で在宅を望まれている方がいる。
→胃ろうについては、事業所全職員が出来ないと行えない。胃ろうの外したものの洗浄・消毒等のお手伝いであるならば行うことができる。
- 「結構、重い人が多いと感じた。レビー小体型認知症の方が独居で生活をされている事に驚いている。

（時間帯実績集計、資料3参照）

- ・ご利用時間帯の平均的内容の説明
- ・コール内容の説明。
- ・随時対応の説明。
- ・コール状況の実績説明（コール時間帯、コール内容等）
- ・随時訪問の発生時間帯の分析説明
- ・現在、コール及び随時訪問対応は、朝7時前後と17時台が多い状況となっている。
状況的には、誤報以外は、訪問が必要なケースが多い。

5. 事例) 定期巡回・随時対応型訪問看護介護と生活援助サービス導入について

別途資料参照

- ・生活支援サービスの定義についての説明。
- ・生活援助で細かい介護保険外の希望が出ている事について事例と共に報告。
→実際に服薬のみでも訪問が可能となるいい制度だと思う
- ・介護保険外になる為、行えない在宅生活に必須となる活動が生活援助サービスで可能となる。
→電気の交換など、通常行えない。家電製品店でしてくれる場合もあるがそれでも出来ない時に行える
といいと思える。
→事例にある植木の簡単な剪定や大掃除・カーテン洗いなどはシルバー人材サービスに頼んでいる。有料であるが頼んですぐの対応が無理で困るときがある。

6. サービスへの評価・要望・助言

・ジルバー人材サービスなど有料であるがある程度安く行ってくれるところがある。そのようなところを紹介してみても良いのではないかと思います。

・電気の交換等も含めて保険適用外が出来ない事にご利用者・ご家族が理解できない状況がある。左記のご説明をしっかりと行う必要がある。

・ゴミの回収について、清掃事務局と相談して、通常は取りに来ない玄関前までとりにきていた。そういったものを利用するのも良いかと思えます。

・内服のみの確認でも入って頂けるので助かっています。CMに細かい連絡を頂けるのも助かります。

7. 終わりのあいさつ

・世田谷区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画素案シンポジウムが開催されます。
世田谷区の介護全体の事および定期巡回等のご説明を含んでのシンポジウムとなっております。
ご参加いただきお役立て頂ければ幸いです。